

令和7年度 全国学力調査の結果報告

札幌市立藻岩南小学校 校長 甲斐 敏明

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

4月に6年生で実施いたしました「令和7年度 全国学力・学習状況調査」の結果の概要についてお知らせいたします。なお、実施教科が国語・算数・理科の3教科であることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではないことなどから、本調査により測定できるのは、学力の一部分であり、学校における教育活動の一側面であることに十分留意する必要があります。毎年本校独自で行っている「学力テスト」の結果とも十分にすり合わせながら、また、同時に行われた児童への「質問紙調査」の結果も参考にし、子どもたちの健全な成長を支えていくことができるよう、取組を続けてまいります。

① 児童の学力の状況と分析

	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
国語	●「話すこと・聞くこと」 全国平均を <u>下回っている</u> 。	▶目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、 <u>伝え合う内容を検討すること</u> 。 ▶自分が聞こうとする意図に応じて、 <u>話の内容を捉えること</u> 。	◆聞き手がもつ興味・関心や情報量を予測して <u>資料の優先順位等を検討したり、聞き手の反応に応じて自分の考えが伝わるように表現を工夫したりする</u> 学習活動の充実を図ります。
	○「書くこと」 全国平均を <u>上回っている</u> 。 ※3問中、選択式の2問は <u>全国平均を上回っているが、記述式の1問が大幅に全国平均を下回っている</u> 。	▶書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、 <u>文章の構成を考へること</u> 。(選択式) ▶図表などを用いて、 <u>自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること</u> 。(選択式) ▶目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、 <u>自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること</u> 。(記述式)	◇選択式の2問は、問題文の構成の仕方を選択するもの、問題文(説明文)の説明の仕方の理由を選択するものでした。これは、とてもよくできています。 ◆記述式の問題は、問題文の説明部分が少ないところを、資料(調べたこと・分かったこと)の言葉を使って詳しく書き直すという問題です。 <u>苦手なのは、自分で資料文から伝えたいことや大切なことを選択し、伝わるように書き表す工夫をすることです</u> 。今後も <u>自分の考えを書き表す手法を学ぶ機会や経験の充実を図ります</u> 。
	●「読むこと」 全国平均を <u>下回っている</u> 。	▶事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、 <u>文章全体の構成を捉えて、要旨を把握すること</u> 。 ▶目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして <u>必要な情報を見付けること</u> 。	◆文章を読み、必要な情報を見付けたり、要旨を把握したりすることは国語だけでなく他教科でも必要になる力である。 <u>筆者の伝えたいこと、説明文の大事な部分はどこなのか、みんなで考えていく学習活動</u> を充実させます。
	●「言葉の特徴や使い方に関する事項」 全国平均を、 <u>下回っている</u> 。	▶学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。	◇ <u>学習した漢字を文章の中で正しく使えるように意識し、実践していけるような学習や漢字テストの工夫</u> をします。
	●「情報の扱い方に関する事項」 全国平均を <u>下回っている</u> 。	▶情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句の関係の表し方を理解し使うこと。	◆文章から分かることと図の関係性を理解する力をつけたい。その <u>前提として文章の内容を理解する力をつける活動</u> を充実させます。
	○「我が国の言語文化に関する事項」 全国平均を <u>上回っている</u> 。	▶時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くこと。	

算 数	●「数と計算」 全国平均を<u>下回っている</u>。	▶数量の関係を式に表し、計算すること。 ▶小数の加法について、数の相対的な大きさをを用いて、共通する単位を捉えること。 ▶異分母の分数の加法の計算をすること。(1/2+1/3)	◆式に表したり計算したりすることが苦手なのではなく、<u>文章を読んで問題の意味をしっかりと理解していないことが課題</u>である。日頃から国語力も同時進行で高めていく必要があります。 ◆既習とのつながりを大切にしながら、<u>数と計算の意味や仕組み、操作についての理解が深まる学習活動</u>の充実を図ります。
	●「図形」 全国平均とほぼ同程度であるが<u>やや下回っている</u>。	▶平行四辺形の性質を基にコンパスを用いて平行四辺形を作図すること。 ▶基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を式や言葉を用いて記述すること	◆作図の仕方を学習後、宿題や家庭学習で<u>反復して取り組む機会</u>を作ります。 ◆学習したことを使って、<u>応用問題に生かせるような学習活動</u>、さらに、<u>言葉で考えを説明できるような学習活動</u>の充実を図ります。
	●「測定」 全国平均とほぼ同程度であるが<u>やや下回っている</u>。	◆はかりの目盛りを読むこと。	◆学習後、<u>反復して取り組む機会</u>を増やしていきます。
	●「変化と関係」 全国平均とほぼ同程度であるが<u>やや下回っている</u>。	▶「割合」の意味についての理解	◆日常の具体的な場面に対応させながら割合について理解したり、<u>図や式などを用いて基準量と比較量の関係を表したりする学習活動</u>の充実を図ります。
	●「データの活用」 全国平均を<u>下回っている</u>。	▶目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること。	◆<u>グラフの目的や意味について理解し</u>、グラフを用いて量の増減を比較したり言葉や数で説明したりする学習活動を増やしていきます。
理 科	○「エネルギー」を主とする領域 全国平均とほぼ同程度であるが<u>やや上回っている</u>。	▶身の回りに金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いていること。 ▶電気の回路のつくり方について、<u>実験の方法を発想し、表現すること</u>。 ▶電磁石の強さと巻き数の関係についての知識が身に付いていること。 ▶乾電池のつなぎ方について<u>直列つなぎに関する知識が身に付いていること</u>。	◆身の回りの金属が電気を通すか、磁石に引き付けられるかどうかの正答率は、全国平均を上回ってはいるが、とても低い正答率であり、みんなが理解しているとは言えないので、<u>実験をするだけでなく、復習したり、生活の中で意識させたりすること</u>で定着を図ります。
	○「粒子」を主とする領域 全国平均とほぼ同程度であるが<u>やや上回っている</u>。	▶水の蒸発や水の結晶について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解していること。 ▶水の温まり方についての観察実験の方法が適切であったかを検討し表現すること。 ▶水が氷に変わる温度を根拠に、オホーツク海の氷の面積が減少した理由を予想し、表現すること。	◆水の温まり方や蒸発については、よくできていたが、水が氷になることの理解や考え方の説明ができていなかった。知識を身に付けるとともに、その知識を基にして、<u>様々な事象の原因を考えると</u>いう「思考・判断・表現」の部分に力を入れていきます。
	○「生命」を主とする領域 全国平均とほぼ同程度であるが<u>やや上回っている</u>。	▶ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いていること。 ▶顕微鏡の操作技能が身に付いていること。 ▶発芽するために必要な条件を制御した解決方法を発想し、表現すること。	◆<u>実物を使用した実験</u>による知識の理解を深める学習活動の充実。 ◆実験をするときの<u>条件制御について、意味を理解し、自分たちで考えていけるような学習活動</u>の充実を図ります。
	○「地球」を主とする領域 全国平均を<u>上回っている</u>。	▶赤玉土の粒の大きさによる水のしみこみ方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想したり、<u>結果を基に結論を導いた理由を表現したり、他の条件での結果を予想した</u>、表現したりすること。	

② 質問紙調査の結果概要と分析

	結果の概要	結果の分析
学校での学習	○「<u>国語の勉強は好き</u>」 59.2% 全国平均比 <u>+約0.9%</u> ○「<u>国語の学習は将来役に立つ</u>」 92.6% 全国平均比 <u>+約2.2%</u> ○「<u>国語の授業で目的に応じて、簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていますか。</u>」 92.6% 全国平均比 <u>+約10.8%</u>	●国語・算数の学習の大切さは感じていますが、学ぶ喜びを感じるには至っていない現状が表れています。 今一度、苦手意識をもつ子どもたちに対するアプローチを含め、<u>基礎基本の力習得のための時間を増やしたり、授業改善を行ったり</u>していきます。
	●「<u>算数の勉強は好き</u>」 44.4% 全国平均比 <u>-約13.5%</u> ○「<u>算数の学習は将来役に立つ</u>」 100% 全国平均比 <u>+約8.4%</u> ●「<u>算数の解き方が分からない時は、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか。</u>」 70.3% 全国平均比 <u>-12%</u>	○学校全体で、<u>学ぶ喜びを実感できるように「学びと思いがつながる教材化」と「友達とのつながりが生まれる教師の関わり」</u>を工夫しています。今後も、「つながる」をキーワードに、<u>学習者同士、授業同士、知識や経験同士が</u>つながり「<u>わかった</u>」「<u>もっと知りたい</u>」と思えるような授業を目指していくことで算数が好きになってくれることを願っています。
	○「<u>理科の勉強は好き</u>」 81.4% 全国平均比 <u>+1.3%</u> ●「<u>理科の学習は将来役に立つ</u>」 70.3% 全国平均比 <u>-9.6%</u> ●「<u>将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いませんか。</u>」 18.5% 全国平均比 <u>-11.5%</u>	○●「理科の勉強が好き」という回答が多いのは嬉しいが、将来のことにはつながっていないことがはっきりとわかりました。実験の楽しさだけでなく、身の回りある不思議なことや事象を結びつけて考え、日常生活に生かせるような関わりをしていきます。
	○「<u>解答時間は十分でしたか。</u>」 国語 74.1% 算数 70.4% 理科 96.3% 全国比 国語 <u>+0.2%</u> 算数 <u>-10%</u> 理科 <u>+2.2%</u>	○●特に算数の解答時間が足りなかったようです。 今回の問題は、文章問題が多く、文を読み問題を理解することに時間を取られたことが考えられます。 国語の課題にもあったように読んで理解する力をつけるよう、これからの学習でも、そのような場面を多く取り入れていきます。
家庭での学習	○●「<u>平日、家で1時間以上学習する</u>」 約 55.6% 全国平均比 <u>+1.6%</u> 内訳は①3時間以上 0% (全国は12.1%) ②2～3時間 0% (全国は12.8%) ③1～2時間 55.6% (全国は29.1%) ④30分～1時間 22.2% ⑤30分未満 22.2% } 44.4%	○<u>毎日の家庭学習とプリントの宿題、月曜日にはChromebookを使った宿題を全校統一して課しています。</u>実態を見ると、毎日、宿題と家庭学習に取り組む子どもがほとんどです。御家庭での毎日の声掛けと机に向かう環境づくりに感謝いたします。 ●全国平均と比べると、依然、<u>家での学習時間が少ない状況</u>にあります。今後も、<u>学年に合った時間で、家庭での学習習慣づくりの御協力をお願いいたします。</u>取組内容に困った時のために、「<u>自主学習ブック</u>」を配付しています。お子さんの取組をぜひサポートしてください。
その他	●○「<u>人が困っているときは、進んで助けている</u>」 約 92.5% 全国平均比 <u>-1.2%</u> 「<u>自分には良いところがあると思う</u>」 約 88.8% 全国平均比 <u>+1.9%</u> 「<u>いじめは、どんなことがあってもいけないと思う</u>」 約 100% 全国平均比 <u>+2.8%</u>	○困っている人を助けるという<u>気持ちの温かい子どもたち</u>です。学校でも、高学年が低学年にやさしく声をかけたり挨拶をしたりしている場面をよく見かけます。 しかし、まだ、周囲の人の事を考えずに行動したり、相手が傷つくことを言ったりする場面も見られます。今年度は、学校でも「<u>思いやりの心</u>」を大切に<u>する取り組みに力を入れています。</u> 御家庭でも学校でも頑張り認められ、<u>自分の良いところを自覚している子が多いです。</u>また、<u>いじめに対する意識も高く、全員がいけないことだと感じていること</u>がわかりました。これからも、御家庭、地域、学校、みんな<u>で温かく子どもたちを見守っていくことが大切です。</u>

○「朝食を毎日食べている」 約 92.6% 全国平均比 -1.1% 「いつも同じ時間に起きている」 約 88.9% 全国平均比 -2.1% 「いつも同じ時間に寝ている」 約 85.1% 全国平均比 +3.2%	○生活習慣の確立について、これまでもお便りでのお願いなどをしてきました。「朝食」と「起床時刻」については全国平均を下回ってはいますが、<u>昨年よりしっかりできている割合が増えています。</u>御家庭でも温かい関わりを続けていただいていることが分かります。学習、日常生活の基盤となる良い生活習慣を保てるよう、これからも声掛けをお願いいたします。
--	---